



しとしとしと、連日雨、世の中は、紫陽花、蛙にかたつむり。

図書館にもカエル絵本特集。

カエル君たち、あちこちで大特集されている。

...ということで、春に編んだ編みカエル君のことを思い出した。
ひと月くらい前にひっそりと誕生していた結構可愛いヤツである。



こんなものから始めたのだ。
何か少しでも明るい色のものにさわりたいかったのだ。



始めてから、ものすごい細かい作業であることに気づいた。

ものすごく！

あー、やんなったやんなった。

ブツブツ文句たれつつ間を置きつつ。



永遠に揃わないと思っていたパーツもいつか編みあがる。



編みつなぐ作業はちょっと楽しくなってくる上級作業。



で、「なんかください。」言いたげな手つきに。



これは不気味。鬼太郎のお父さんのようだ。

...などなど、あとはいろいろあれこれ編みつないで、ああしたりこうしたり、ナンダカンダアレヤコレヤで...



カレです。



あれ？



生まれちゃった!



とりあえずよろこんでみる。



雨が降ったら青空傘さしてでかけよう。



...ど、どうしたんだよう、泣くなよウ...

外出たら、カエルなのに傘さしてて変だって笑われたんだよう。

オマエ生まれたばっかだからな、イジワル言われてびっくりしたんだな、泣いていいぞ。ダイジョブだぞ。いろいろあるんだぜ、人生はな。

いっぱい眠って、明日が来たら、また傘さしてケロケロ歌って過ごそうな。

編みカエル君

<http://p.booklog.jp/book/52092>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/52092>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/52092>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ